

まるざー

石垣市の女性と男性のひろば

第2
1995年7月

発行 / 石垣市総務部企画室女性行政係 〒907 石垣市美崎町14番地 TEL 09808-2-9911(内136)

冊子 天久 節

女性情報交換会開かれる

石垣市では、去る4月16日市立図書館視聴覚室で、日頃いろいろな活動を展開している各種女性団体の情報交換会を開催しました。これは、婦人週間にちなんで開かれたもので、市内35女性団体・女性グループに呼びかけたところ、20の団体やグループに参加いただきました。

このように女性団体が一堂に会することは初めてとあって、自己紹介や団体紹介を通じて、それぞれの活動内容や問題点を知ることができました。また、身近に女性問題を考えるきっかけができ、男女共同参画社会に向けての一步を踏み出す機会となりました。日頃会活動に奔走しているリーダーの集会だけに、熱気に満ちて、女性パワーが溢れていました。

アンケート回答のなかにも「今最も必要な会だと思う。このような機会をまた是非つくって欲しい」という意見が多く寄せられています。「これを機会に女性のネットワークづくりが必要」という声もありました。それぞれの会が、女性同士の交流や情報の交換を切実に必要と感じているようです。



女性情報交換会であいさつをする大浦長瀬石垣市長

あしたをかたる女性のつどい

石垣市の本庁舎内女性職員による「女性のつどい」が、7月5日（水）午後開かれました。女性の力を発揮して石垣市のあしたを築くために、市長を囲んで語ろうというものです。32人の女性がつどい、ざっくばらんな座談会でしたが、市長に直接声を聞いてもらえる機会とあって、活発な意見がたくさんでました。

時間の関係上、主に研修制度の整備にしばられました。男女を問わず必要な初任者研修や女性登用が進められるなかで、いつでも、どこでも、どの任務でもこなせるような内部研修の強化を望む声が強くなりました。その他、福祉行政に対する課題や、女性専用休憩所の必要性等、予定時刻を過ぎても席を立つ人が少ないくらい活気に満ちた意見がだされました。



新しい農業経営確立と女性の能力開発に奔走 大道晴子さん

県内に2人しかいない女性農業委員のひとりで3期8年目である。石垣市和牛改良組合婦人部を組織し部長を務める。「牛は女性が育てるといい牛に仕上がると言われている、女性の感性の重要性が表れている証です」「これからの農業も、女性の力を必要としているんですよ」と話す。

新しい農業経営を確立させるため、婦人部で定期的に勉強会を開いたり、視察研修や簿記講習会を開催して、女性の能力開発に奔走している。いま農業婦人は起業家でなくてはならないといわれているが、日に焼けた笑顔には八重山の自然とともに生き、農業に従事する誇りと希望が輝いている。

福祉・ボランティア・地域づくりを求めて

昨年11月に県内で24人目、八重山地域でただ一人「健康運動指導士」の資格を取得した。同指導士は、財団法人健康・体力づくり事業団の認定資格で、県環境保健部より補助を受け40日の研修後試験にパスした。この資格を取得した者は、個人に合った運動プログラムを組み運動処方箋を作ることができる。これまで保健婦としての多忙さから、担当区を思うように訪問できず、地域ぐるみでの健康づくりが必要だと痛切に感じてきた。

やっと念願叶って現在川原、大浜、白保の各地区にお年寄りの健康づくりボランティアグループを発足させ、ユニークな活動が展開されている。長浜さん曰く「地域にはいろいろな能力を持った人がいる。素晴らしいことをしようということではなく、みんながそれぞれ自分のできることで、お年寄りの役に立てるならという気軽な気持ちでボランティア活動に参加していくことで、健康的な地域づくりができると思う」



お知らせ

☆

女性行動計画にむけて「提言」まとまる

「石垣市女性行動計画」(案)の策定について諮問を受けていた石垣市女性問題会議は、去る6月5日「同計画」(案)をまとめ市長に提言しました。この提言は、女性問題会議が1年余をかけて調査研究・討議を重ね、男女共同参画社会石垣市をめざして策定したものです。市ではこの提言を受け、各部課により組織される女性行政推進本部会議に諮り、提言の趣旨を十分に生かして、市の施策として実効性のある行動計画を策定していきます。

介護休業法が成立しました

6月国会衆議院本会議で与党などの賛成多数で介護休業法が可決、成立しました。高齢時代を迎える中、休業後に職場復帰できる制度の実現によって、これまで難しかった「仕事と介護」の両立に道すじができました。

内容は、介護を必要とする従業員の申請に基づいて休業を認め

- ①期間は連続3か月
- ②対象家族は常時介護を要する配偶者、父母、配偶者の父母
- ③取得回数は、家族一人につき1回
- ④事業主は申請を拒否できず、休業を理由にした解雇は禁止

実施は1999年4月からとなっています。

女性行政窓口から

ピースフル・フェスタ'95

平成7年8月17日(木) 午後7時30分 石垣市民会館大ホール

今年には戦後50周年にあたります。市では、いろいろな記念事業を企画していますが、その一環として若者の手づくりによる「ピースフル・フェスタ'95」〜平和の虹を南から〜を開催します。企画の中心となるメンバーは平田大一さん。舞台監督は宮良長明さん。出演者はすべて若い世代で構成し、第1部は3高校の放送部を中心にした生徒たちによる詩の朗読劇で「ヨーンの道」や「忘れな石」など、実際にあった石垣・八重山の戦争体験をもとに、女性の視点から捉えた新しいアプローチで展開します。

第2部は、「ピースフル・ライブ'95」として、平和の歌声を中心としますが、ビギンや日出克からの「平和ビデオメッセージ」などが届けられることになっており、受け継ぐ平和から若者による「積極的に築く平和」への種蒔きとして取り組んでいます。全国で顔を見ない、先人たちが生み育んできた民俗、芸能、文化を土壌とした石垣・八重山の若者ならではの平和祭典です。ご期待下さい。

「女性講座」がはじまります

これからの時代は、あらゆる分野に女性が必要とされています。

いろいろな角度から学習を重ねていくことで、これまでと違う視点が生まれ、自分を見つめる機会と視野が豊富になり、自分を必要とする社会のなかで、自分らしく生きる自信がいつのまにかついてくる。そんな学習にしたいと思います。

多くの方の積極的な参加をお待ちしています。



女性講座いしがき'95

7月は男女共同参画月間

ねらい 自分らしく生きるために、あるがままの自分を見つめて、ありたい自分を探し確立する。

対象 女性問題に関心のある男女

場所 石垣市立図書館視聴覚室、市民会館2F会議室

回	月日	テーマ	学習方法	講師
1	7 / 25 (木) 20時～22時	開講式 おきなわの女性たち ～働く女性の特徴～	講 話	沖縄国際大学教授 比嘉 輝幸
2	8 / 4 (金) 20時～22時	女性の自立を求めて	講 話	沖縄県女性政策室 主幹 垣花みち子
3	8 / 19 (土) 14時～16時	戦争と女性	講 話	石垣市教育委員会 大田 静男
4	9 / 16 (土) 14時～16時	職域はあなたがひろく	ビデオと 講 話	21世紀職業財団沖縄 事務所長 田盛 愛子
5	9 / 30 (土) 14時～17時	農漁業に携わる女性たち の輝くあした	講 話	八重山農業改良普及 センター農村生活 課長 宮平エミ
6	10 / 7 (土) 14時～17時	北京会議からのメッセージ	スライド 報 告	新城由利子 小底 弘子 瀬平 俊
7	10 / 21 (土) 14時～17時	閉講式 高齢社会を生きる	講 話	市長 大須 長照

表紙

まるざーは八重山方言で円座を意味する。老若男女の別なく円座になって情報を交換し未来を語り合うことを象徴して命名した。写真「いんざ」は「いんちゃ」とも言い、藁で渦のように外へ外へと円く編んだ数物。司(女神職)が御嶽で祈願するときの数物として利用した。現在は、小さめに編んで鍋や、花瓶の下に敷いて活用されている。